様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月　16 日

１．職名・氏名　准教授・中井美和

２．学位　学位　博士（経済学）、専門分野　環境経済学、授与機関　神戸大学、授与年 2015 年

３．教育活動

⑴講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 （１）環境経済学（2 単位）3、４回生 （２）演習 I（4 単位）3 回生 （３）演習 II（4 単位）4 回生 （４）外書講読（2 単位）2 回生 （５）環境政策（2 単位）大学院生
②内容・ねらい （１）環境問題を経済学の視点から理解し、環境問題解決のために講じられている経済学的アプローチを理解すること。 （２）および（３）卒業論文執筆に向け、研究力の基礎を身につけること。 （４）英語で文章を読むことに慣れること。環境問題に関心を持つこと。 （５）経済学の観点から、環境問題が発生するメカニズムを説明できるようになること。 環境政策への知見を深めること。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 （１）最新の環境問題を反映した講義内容・資料の作成に務めた。また、第一回目の講義でアンケート調査を実施し、学生の関心のある環境問題を把握することで、できる限り学生が学びたい内容を講義に取り入れるよう心がけた。また、講義中に全員参加型のクイズを出題したり、随時質問を受け付けることで、なるべく学生とのインタラクションを取る工夫をした。 （２）、（３）通常の輪読に加え、前期は日本原子力発電による出前授業、後期は日本原子力発電の総合研修センター、原子力館、管理区域の視察を取り入れ、課外活動を通じてよりエネルギー問題への理解を深める機会を設けた。 （４）輪読に加え、関心のある環境問題について英語でプレゼンテーションをする課題を設定した。発表準備として、講義中にインターネットや図書館で調べ物をしたり、World Café のインストラクター（英語のネイティブスピーカー）を訪ねて発表資料の英語チェックを受ける機会を設けた。当日は World Café の一角をお借りしてプレゼンテーションを実施した。プレゼンテーションそのものに不慣れな学生も多かったため、資料の作成方法や発表方法に問題のある学生もいたが、３回生以降のゼミ活動の橋渡しになったのではないかと考える。 （５）受講者の希望により、遠隔・対面のハイブリッド型での開講となった。従って、教員および受講者同士のインタラクションが難しい状況ではあったが、講義中に受講者へ質問や感想について発言を求めたり、ディスカッションをする時間を設け、できる限り受講者全員との交流を持つよう心掛けた。 【ゲストスピーカー １名】 【フィールドワーク １件】
⑵その他の教育活動
なし

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【0 本】

②学術論文（査読あり）

*1. Mitsunami, K., Nakai, M., 2024. Are sustainable firms more innovative? The case of China. *Japan & The World Economy* 69, 101238. (2023.12.31 アクセプト) https://doi.org/10.1016/j.japwor.2024.101238

*2. Nakai, M., Ravago, M. V., Miyaoka, Y., Saito, K., Arimura, T. H., 2023. Consumers' preferences for energy-efficiency air conditioners in a developing country: A discrete choice experiment using eco labels, *Energy Efficiency* 16, 14. https://doi.org/10.1007/s12053-023-10095-8 【2 本】

③ その他論文（査読中）

*1. Nakai, M., V. Lossel., V., Wetzel, H. Preferences for dynamic electricity tariffs: A comparison of households in Germany and Japan. Under review in *Ecological Economics*.

2. Arimura, T. H., Groh, E. D., Nakai, M., Ziegler, A. The causal effect of private and organizational climate-related identity on climate protection activities: Evidence from a framed field experiment in Japan. Under review in *Environmental and Resource Economics*. 【2 本】

④ 学会発表等

1. *中井美和，王佳星，松本茂. Heating use in cold climates: What makes the difference? 環境経済・政策学会 2023 年大会. 2023 年 9 月開催.

2. 矢島猶雅，中井美和，Ravago, M. V. Do households choose energy-efficient air-conditioners?: Findings from Manila, Cebu, and Davao. 環境経済・政策学会 2023 年大会. 2023 年 9 月開催.

【2 件】

⑤その他の公表実績

*1. Nakai, M., Will the circular economy be advanced by sustainable investment? Prospects & challenges. 2023 年 JAFOE（2023 Japan-America Frontiers of Engineering Symposium：日米先端工学）シンポジウム. 2023 年 7 月開催.

*2. Nakai, M., Wang, J., Matsumoto, S. Heating use in cold climates: What makes the difference? Research Seminar, University of Kassel, Germany. 2023 年 9 月開催.

*3. Nakai, M., Wang, J., Matsumoto, S. Heating use in cold climates: What makes the difference? Research Seminar, University of the Sunshine Coast, Australia. 2023 年 10 月開催. 【3 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績

【学外】

- 中井美和（研究代表者）．日本学術振興会 科学研究費 若手研究. ESG 投資の普及要因に関する実証的研究.（3 年目）
- 中井美和（共同研究者）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究 C. U 理論に基づいた自律性支援型 ESD 授業における動機づけ評価指標の実証的研究（代表：金沢大学 河内幾帆）.（4 年目）
- 中井美和（共同研究者）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究 C. U 中国企業の研究開発の成果に関する実証的研究：地方政府の産業政策と ESG 経営の視点（代表：帝京大学三竝康平）.（1 年目）

【学内】

- 中井美和（研究代表者）．福井県立大学 競争的課題研究推進支援. Encouraging Jeepney drivers to adapt EV. （単年）

(3)特許等取得

なし

(4)学会活動等

- 環境経済・政策学会 2023 年大会 座長（1 セッション）
- 環境経済・政策学会 SEEPS キャンプ 2023 年大会 実行委員

５．地域・社会貢献活動

<u>委員就任（国）</u>

- 北陸農政局農村計画課関係補助金等交付先選定審査委員会 委員（期間：令和 5 年 3 月 14 日～現在に至る）

<u>委員就任（県）</u>

- 福井県環境審議会 委員（期間：令和 4 年 2 月 1 日～現在に至る）
- 福井県県民社会貢献活動推進協議会 委員（期間：令和 4 年 2 月 16 日～令和 5 年 1 月 27 日）

<u>委員就任（市町村）</u>

- 福井市長政治倫理審査会 委員（期間：令和 5 年 8 月 1 日～現在に至る）
- 池田町脱炭素実行ビジョン策定専門会議 委員（期間：令和 4 年 8 月 1 日～令和 5 年 2 月 14 日）

<u>**OECD データ分析・レポート執筆協力**</u>

- OECD（Organisation for Economic Co-operation and Development）が 9 カ国で実施した EPIC Survey のデータ整理、および、実証分析を担当し、Thematic Report on Energy（仮称）の執筆を行なった。

<u>講演会 講師</u>

- 仁愛女子高等学校 大学模擬授業体験講座実施要項
- タイトル：福井県立大学での経済学の学びについて
- 開催日：2023 年 11 月 24 日

<u>高校生向け講座　講師</u>

- ふくい School of Liberal Arts 主催 高校生のための社会科学入門
- タイトル：環境経済学入門―環境にやさしい人のつくりかたー

開催日：2024 年 1 月 27 日

６．大学運営への参画

⑴補職
なし
⑵委員会・チーム活動
国際センター（仮）準備委員会
⑶学内行事への参加
なし
⑷その他、自発的活動など